

造形演習

担当教員 船井美佐

受講アトリエ 【502】

2025/04/15(火)- 07/08(火)

9：20-10：50/11：00-12：30

授業内容

絵画について伝統的な様式から近現代までのあり方を時代順に比較しながら学ぶことで、現代のまだ見ぬ新しい絵画表現について考えるための基礎的な知識と技術を養う。毎回、美術史のレクチャーの後に、実際の画材や技法を体験し課題を制作する。1、「絵の中」何をどう描くか？ものの捉え方や構図など、対象を2次元に表す方法の様々な様々について。2、「絵の表面」何を使って描くか？絵具や絵肌、支持体など物質としての絵画のあり方の変化について。3、「絵の外側」どのように展示するか？作品と人と空間の関係の多様性について。最後にそれまで学んだことをもとに制作したドローイングを空間にインスタレーションとして構成して講評する。

授業スケジュール／計画

			指導	1限	2限	指導	3限・4限	備考：持ち物（）は学校が用意する物
1	4月15日	火	○	オリエンテーションとアーティストトーク 自己紹介、自分の作品について話す			実技カリキュラム	自己紹介カード、一番気に入っている自分の作品（モニター、マイク）
2	4月22日	火	○	「イメージを形にする①」言葉とコンセプト 世界で活躍する現代アーティスト、オノヨーコ、草間彌生など			実技カリキュラム	鉛筆、消しゴム、アクリルまたは水彩絵具のセット（画用紙カード）
	4月29日	火						
	5月6日	火						
3	5月13日	火	○	「イメージを形にする②」ドローイング 現代のさまざまな絵画表現、抽象と具象			実技カリキュラム	鉛筆、消しゴム、アクリルまたは水彩絵具のセット（画用紙カード）
4	5月20日	火	○	「もののとらえ方①」水墨運筆 東洋絵画の特色、デフォルメ、構図、線と面で捉える			実技カリキュラム	（墨、硯、筆、和紙、絵手本）
5	5月27日	火	○	「もののとらえ方②」デッサン 西洋絵画の始まり、ルネッサンス、遠近法、光と影で捉える			実技カリキュラム	指導：工藤（コンテ、コピー用紙、フィキサチーフ）
6	6月3日	火	○	「構図と色彩」色彩構成 近代化による絵画の変化、マネ、モネ、ゴッホ、ピカソ、			実技カリキュラム	鉛筆、アクリル絵具のセット、定規、コンパス（画用紙、パネル、刷毛、筆洗、水張テープ）
7	6月10日	火	○	「構図と色彩」色彩構成 抽象絵画の始まり、カンディンスキー、モンドリアンなど			実技カリキュラム	鉛筆、アクリル絵具のセット、定規、コンパス（画用紙、パネル、刷毛、筆洗、水張テープ）
8	6月17日	火	○	「身体・物質・偶然性」大画面にドローイング 第二次大戦後の新しい表現、ポロック、ロスコ、具体、アンフォルメルなど			実技カリキュラム	アクリル絵具セット（ブルーシート、板段ボール90×90cm）
9	6月24日	火	○	「空間構成①」 70年代～ポップアート、コンセプチュアルアート、ソルウィット、フランク・ステラ、リヒター、新表現主義～現代の動向まで			実技カリキュラム	アクリル絵具セット、カッター（ブルーシート、板段ボール90×90cm、段ボールカッター）
10	7月1日	火	○	「空間構成②」講評に向けて作品を仕上げる			実技カリキュラム	指導：工藤 アクリル絵具、カッター（シート、板段ボール90×90cm、段ボールカッター）
11	7月8日	火	○	「空間構成③」講評会 1人ずつ壁面に構成する			実技カリキュラム	（布ガムテープ）

学習目標

アーティストとして制作していく上での基礎となる美術の知識を学ぶ。古今東西の絵画にまつわる様式や表現の歴史について知り、さまざまな絵画様式を体験する。これまでの絵画の遍歴や特質を知ることによって現代の自分の位置について考え、自分だけの新しい表現を生み出していくための力を培う。

予習・準備物

この授業では毎回、美術史を時代順に解説し、それと対応した実技の課題に取り組みます。1回の授業につき1つの制作をして毎回提出します。準備物は授業ごとに異なります。基本的な、鉛筆、練りゴム、消しゴム（デッサンのセット）、筆、パレット、アクリル絵具（絵具のセット）は各自用意してください。パネル、紙、特別な画材は学校で用意します。1回目の授業では、自己紹介とアーティストトークの練習を兼ねて、講師が自身の作品について話した後、1人ずつ自分の作品について話します。1人5分程度。自分が今まで作った中で一番気に入っている作品を持ってきてください。事前に自己紹介プリントを記入して提出してください。作品が持ち運べない場合は画像をプリントして持ってきてください。

注意事項

毎回、モニターで美術史上の名画を紹介しながらレクチャーを1時間、その後にそのテーマと関連した実技を2時間行います。導入部分を聞かないと理解できなくなってしまうので遅刻しないように注意してください。古典から現代まで順番に時代を追って体験していく内容となっているので、欠席の無いように。制作の進行状況に合わせて上記の日程は前後することがあります。

評価方法

導入の講義を聞かないと学習できないため出席を重視します。各回のレクチャーの理解度、課題の提出、をそれぞれ各回2~4ポイントとして点数を合計します。さらに、取り組み姿勢と、講評での最終課題の評価を加算して合計を出します。満点は合計100点。欠席した場合は、その回で取り上げた時代と作家について自分で調べてレポートにまとめて感想を書いて提出すること、課題を仕上げて後日提出することによって、それぞれ加算します。（レポートはA4を1枚程度。）

ドローイング

担当教員 室井公美子

受講アトリエ [601]

2025/04/09(水)-04/16(水)

9 : 20-12 : 30/13 : 30-16 : 30

授業内容

「ドローイング表現：新たな視点と思考を自由な素材表現で制作していく」というコンセプトのもとに、既成の技法や形式にとらわれず、自由な発想やアイデアを大切にします。手を動かしながら、自分の中に潜む新たな可能性を発見してゆきます。

授業スケジュール／計画

			指導	1限・2限	指導	3限・4限	備考
1	4月9日	水	○	前提講義・制作	○	制作	
2	4月10日	木		制作		制作	
3	4月11日	金		制作	○	制作	
4	4月12日	土		制作		—	
5	4月13日	日					
6	4月14日	月	○	制作		制作	
7	4月15日	火		造形演習	○	講評会	
8	4月16日	水				—	

学習目標

制作を通じて多様な素材に触れ親しみながら、自身の制作の根幹となるものを発見してゆく。

予習・準備物

ドローイングとは何か、自分なりに調べて考えておきましょう。使用したい素材や画材があれば、適宜持参してください。

注意事項

自分の興味のあるテーマに関わるものことなどの資料を順次用意しておくこと。

評価方法

提出課題及び取り組み姿勢。ドローイング（上限なし）、レポート。

2年ファインアート科絵画専攻

イラストレーションA（絵画）

担当教員 今野樹里恵

受講アトリエ [601]

2025/04/17(木)-2025/4/26(土)

9:20-12:30/13:30-16:30

授業内容

テーマに沿って連作を制作する。既存イメージができているテーマを、自分だけの表現方法で再構成すること。更に複数点制作することにより、自分の持っている世界観や表現方法を統一感のあるものとして表現することを学ぶ。

授業スケジュール／計画

			指導	1限	2限	指導	3限・4限	備考
1	4月17日	木	○	オリエンテーション			制作	
2	4月18日	金		制作		○	制作	
3	4月19日	土		制作			—	
	4月20日	日						
4	4月21日	月		制作		○	制作	
5	4月22日	火		造形演習		○	制作	
6	4月23日	水		制作			制作	
7	4月24日	木		制作		○	制作	
8	4月25日	金		制作			制作	
9	4月26日	土	○	講評			—	

学習目標

テーマに基づくイラストレーション制作を修得します。一つの世界観で一連の作品を制作すること、自分の内面を表現するだけでなく外的要因（テーマ）に応じて制作をすることで、既存の表現に囚われずに新しい自分だけの表現を目指します。

予習・準備物

連作制作に必要な画材（支持体・絵具など）。イメージができてから授業中に用意しても良い。

注意事項

授業時間内に制作完成させること。

評価方法

課題提出と出席で評価する。